

コロナ禍で大打撃を受けている飲食業界
食文化や生産者の未来を守るため、国内飲食18団体が結束！
『外食崩壊寸前、事業者の声』緊急記者会見

【日時】 2021年6月10日（木） 10：00～11:00（9:30受付開始）

【場所】 ベクトルスタジオ（東京都港区赤坂4-15-1赤坂ガーデンシティ18階）

オンライン視聴も可 ※出席ご希望媒体へオンライン参加方法を個別にご案内します

【提言内容】

1. “禁酒政策”の撤回と厳しい時短政策の緩和を！
2. 飲食店の感染対策において第三者認証を明確化し、認証店舗についてはメリットを！
3. 生産者や納入業者も苦しんでいる。支援策の強化を！
4. “アフターワクチン”に向け、米国のような大規模経済支援を！
5. エビデンスに基づいた飲食店政策を！

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、飲食に関わる18団体が結束し多くの飲食店が抱える苦難や課題を集約し「食文化を未来に繋ぐ飲食アライアンス」として声を上げるため、2021年6月10日（木）10時より、飲食業界の厳しい現状を世論にお伝えすると共に、政府や自治体の政策について提唱を行う記者会見を開催いたします。

1年以上続くコロナ禍において、休業、時短営業、酒類提供の禁止などの要請を受け続け、経営体力が限界に近付きつつある飲食業。多様な飲食店の形態を十分考慮しない一律の政策が、十分に納得できる科学的な根拠と現場の意見の反映が乏しい中で進められてきました。その中でも2度目の緊急事態宣言下までは95%の事業者が要請を守っていました。

しかし、3度目の緊急事態宣言の対処方針は厳しく、5月12日の延長、6月1日の再延長から、資金面や精神面で我慢の限界を超え、酒類販売や営業時間の拡大をする事業者が増えており、赤字ながらも要請を守っている事業者と要請を守らずに営業している事業者と同業者の中でも分断化傾向にあり、現在の政策を継続するには限界にきております。政治的な声を上げる文化がなかった飲食業界ですが、今こそ「コロナ禍を乗り越える」という共通の課題のもとに大同団結し、国民世論に対して、そして政治に対して、感染対策と経済対策の両立を実現できる真に必要な政策に向けた転換をお願いしたいと考えております。

本会見はZoom機能を使ったオンラインでも開催します。ご視聴・ご参加いただけます場合、本資料添付のフォーマットに従って【6月9日（水）19：00】までにメールにてご返信ください。ご多忙のことと存じますが、何卒ご参加ご検討いただけますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

【報道関係専用お問い合わせ先】

PR事務局（株式会社イニシャル内） 担当：東山・井地・藤原

TEL：03-5572-7334 080-5325-8801 FAX：03-5572-6065 Email: alliance@vectorinc.co.jp

■開催概要

日時	2021年6月10日(木) 10:00~11:00
会場	<p>✓ベクトルスタジオ (東京都港区赤坂4-15-1赤坂ガーデンシティ18階)</p> <p>✓オンライン視聴も可 ※出席ご希望媒体へオンライン参加方法を個別にご案内します</p>
登壇者	<p>▼一般社団法人 食文化ルネサンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村田 吉弘 (株式会社菊の井) 菊乃井 ・脇屋 友詞 (株式会社 Wakiya) 中華料理 Wakiya <p>▼一般社団法人 日本ファインダイニング協会 (JFDA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 裕久 (株式会社バルニバービ) Good Morning Café 他多店舗 ・井上 盛夫 (株式会社ソルトコンソーシアム) 広尾 EPW 他多店舗 <p>▼一般社団法人 日本飲食未来の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山下 春幸 (株式会社ウォーターマーク) Hal Yamashita ・奥田 政行 (株式会社オール・ケッチャーノ) アル・ケッチャーノ <p>▼飲食関連業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜井 一宏 (旭酒造株式会社) 獺祭を酒造 ・君嶋 哲至 (株式会社横浜君嶋屋) 業務用酒類卸販売 <p>コーディネーター：二之湯 武史 (食文化ルネサンス) 秋元巳智雄 (JFDA)</p> <p>※Zoom 参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金井 繁行 (株式会社金井農園) 米農家 <p>※その他、賛同協会に加入している外食経営者、外食関連企業、生産者</p>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主催挨拶 (司会進行：二之湯武史氏) ・登壇者紹介 ・主旨説明 ・登壇者意見表明 ・質疑応答

■提唱内容抜粋

①“禁酒政策”の撤回と厳しい時短政策の緩和を！

✓居酒屋・バー・ビアレストラン・ディナー型レストランは業態の魅力を否定された政策であり、営業できる状態に無い。営業しても大きな損失となっている。

②飲食店の感染対策において第三者認証を明確化し、認証店舗についてはメリットを！

✓他業種と同様に感染防止策のガイドラインを守っている店舗は営業できるように。

業界ガイドラインと自治体ガイドラインのダブルスタンダードが重い負担となっている。

✓第3者認証を導入している自治体も15を超えてきているが、チェックとアドバイスによるものが多く、見える化・デジタル化も含め、本来の認証式には程遠く継続効果も薄い。

③飲食店向け生産者や納入業者も苦しんでいる！減少分の補填など支援策の強化を！

✓飲食店向けの食材や卸業者、和牛含めた高品質な食材の生産者の売上は激減しているが、2次被害のため支援策は少なく、飲食店同様に危機的状況にある。

④“アフターワクチン”に向け、米国 RDF(レストラン活性化基金)のような大規模経済支援を！

✓ワクチン接種が進んでいる米国では、バイデン大統領が200兆円の新型コロナウイルス経済対策法案可決、そのうちRRF(レストラン活性化基金)として3.1兆円が予算化され、減収分を補填する政策を作った。日本でもアフターワクチン時代に再生しやすい政策を。

⑤わが国の食文化を守るために、エビデンスに基づいた飲食店政策を！

✓2回目の緊急事態宣言から飲食店へ厳格な対処方針が続いている。感染者のリソースでは家庭内、施設内、職場内の方が飲食店より多く、飲食店を狙い撃ちする明確なエビデンスがない。21時と20時の閉店の違い、酒類販売による違いのエビデンスも無く、納得できないまま要請に応じている企業がほとんどである。

■食文化を未来に繋ぐ飲食アライアンス 参加団体

一般財団法人 カクテル文化振興会/一般社団法人 ChefooDo/一般社団法人 食の拠点推進機構/
一般社団法人 食文化ルネサンス/全国すし商生活衛生同業組合連合会/公益社団法人 全国調理師養成施設協会/
一般社団法人 全国日本調理技能士会連合会/全国芽生会連合会/一般社団法人 全日本・食学会/
一般社団法人 日本イタリア料理協会/一般社団法人 日本飲食未来の会/一般社団法人 日本エスコフイエ協会/
一般社団法人 日本バーテンダー協会/一般社団法人 日本ファインダイニング協会/一般社団法人 日本麺類業団体連合会/
公益社団法人 日本中国料理協会/特定非営利活動法人 日本料理アカデミー/公益社団法人 日本料理研究会

■会場でご参加される方へ

【新型コロナウイルスへの対応について】

- ①当日、発熱または呼吸器症状がある方、新型コロナウイルス患者と濃厚接触した可能性がある方、本人または家族が14日以内に感染症危険情報の出ている地域への渡航歴がある方は、参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。
- ②当日受付にて非接触体温計による体温測定にご協力をお願いいたします。37.5度以上の発熱が確認できた場合、会場への入場をご遠慮いただきます。
- ③登壇者および運営スタッフを含む本イベント関係者は全員マスクを着用させていただきます。メディアの皆様も、必ずマスクを着用してのご参加をお願いします。(お持ちでない方は受付で配布致します)
- ④感染拡大防止の観点から記者席の間隔を2m以上開けて配置させていただきます。ご了承ください。
※状況に応じて、開催を見合わせるなどの変更をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

【会場案内図】

赤坂ガーデンシティ 18階 ベクトルスタジオ

(〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 18階)



<アクセス>

- 丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅より徒歩7分
- 銀座線・半蔵門線・都営大江戸線「青山一丁目」駅より徒歩7分
- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅より徒歩7分
- 千代田線「赤坂」駅より徒歩8分